

2018年4月17日

各位

イーピーエス株式会社

## 割付・治験薬供給管理システムと治験管理システムの連携により 業務効率化とデータ品質向上を実現

イーピーエス株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：田中 尚、以下、EPS）は、同社がサービス提供する割付及び治験薬供給管理システム<sup>\*1</sup>（以下、RTSMシステム）「eGLAS<sup>\*2</sup>」（イーグラス）と、富士通株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：田中 達也、以下、富士通）が販売する治験管理システム「tsClinical DDworks21<sup>®\*3</sup>」を連携するサービスを、2018年4月17日に開始いたします。今回のサービス開始により、両システムが保有するデータを双方で活用することが可能になります。

今回のシステム連携により、「tsClinical DDworks21<sup>®</sup>」に登録されているプロトコル情報の「eGLAS」への自動取り込みと共に、「eGLAS」から「tsClinical DDworks21<sup>®</sup>」に治験薬在庫情報／医療機関割付・出庫依頼／交付情報／登録情報等が自動転送されます。

また、「eGLAS」のようなRTSMシステムの利用により、フレキシブルで適正な入出庫管理が可能になる一方、後続の治験管理システムへの入力が複雑になるケースも出てまいりました。システムを連携させることで、RTSMシステムの利便性はそのままに、治験薬入出庫情報等の治験管理システムへの再入力が不要になることで、入力漏れやデータ不整合を防止し、データの品質も向上します。そして、入力完了までのタイムラグが減少するというメリットも見込まれます。

今後、「eGLAS」は更なる合理化と品質向上を目指して、富士通が提供するEDCシステム「tsClinical DDworks21/EDC plus<sup>®</sup>」とのシステム連携についても検討していく予定です。

国内のリーディングCROであるEPSと、最先端のテクノロジーで医薬・医療業界を支援する富士通は、技術的な協力を推進することにより、より多くのお客様の業務品質の向上と効率化に貢献いたします。

\*1:割付及び治験薬供給管理システム（RTSMシステム）

Randomization and Trial Supply Management

\*2 : eGLAS

EPSで開発されたRTSM。割付及び治験薬供給管理機能の他に、エマージェンシーキーの開示機能、被験者登録数の進捗確認機能等を有する。

\*3: tsClinical DDworks21®

国内市場の9割を占める治験管理システム。医薬品・医療機器企業のGCP管理系業務全般をサポートし、新薬・医療機器開発を支援しています。

<http://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/life-sciences/products/drug-development/ddworks21/>

[富士通株式会社について]

テクノロジーをベースとした幅広い領域のプロダクト、サービス、ソリューションを提供するグローバルICT (Information and Communication Technology) 企業です。

【本件に関するお問い合わせ先】

イーピーエス株式会社

営業部営業推進課 広報担当 齋藤

Tel : 03-5804-7577 E-mail : [koho@eps.co.jp](mailto:koho@eps.co.jp)